

● 移住交流支援センターだより ●

NPO
グリーンバレーの
伊藤・中川が
お届けします。



お問い合わせ
☎676-1177
IP: 2028

空き家相談会を開催しました

5月29日(月)に空き家相談会を実施しました。すぐに家を貸したり、売ったりするわけではないけれど、もしセンターを利用した場合、こういったサポートが受けられるかといったご相談がありました。役場産業観光課と移住交流支援センターでは、空き家に関する相談を随時受け付けております。すぐに貸したり売ったりする予定はないけれど、話を聞いておきたいといった内容でも問題ありません。小さなことでもお気軽にお問い合わせください。

今回の空き家相談会

日時：令和5年8月14日(月)

9時～15時

場所：神山町役場2階鶯宿

新規移住相談件数

4月…11件

5月…14件



今月のインタビュー

21年6月に鳥取県から移住した牧野さんをご紹介します。

〈移住前の暮らし〉

神山に来る前は、鳥取県のパン屋で4年間修行をしていました。もともとパン作りが好きで、子どもの頃から天然酵母パンを作り、食べることとつくることにずっと興味がありました。大学では環境問題や、人種差別など色々な問題を学び、私には何ができるのかと考えた時に、自分の生活を変えたいと世の中が変わっていかないと感じるようになりまして。自分の良いと思う生活をしながら、手に職をつけて生きていきたいなと思い、パン屋さんで働きはじめました。



牧野 美鈴
愛知県出身

下分中稲原在住

〈移住のきっかけ〉

鳥取県で4年間修行した後、次の生き方を考えていた時に、大学の時代の友人と四国を旅行することになり、知り合いがいる神山町にきました。旅行中、様々な神山の人たちの暮らし方に触れ、共感したことが移住のきっかけです。神山町には、それぞれの理想とする生活や仕事、働き方や生き方を、自ら生み出している人がたくさんいて、とても魅力に感じます。他の地域ではなかなかないですね。移住当初はすみはじめ住宅「西分の家」で暮らしながら、神山塾に参加したり、仕事や住まいを探したりしました。

〈暮らしや仕事〉

季節に合わせていろんな農家さんの手伝いをしています。今は阿波市のぶどう農家の友人の手伝いに行っていて、時期によっては、鴨島町のにんじん農家さんや、和歌山県のみかん農家さんの収穫も手伝ったりしています。最近は友人と共にイベントの会場装飾の仕事も始めました。農業の廃材や海岸で



廃材で作ったクラゲ

集めたゴミなどを材料に使っていますが、ゴミだけれどゴミに見えないような作品作りをしています。

〈今後の抱負〉

季節についていきたいですね。家と一緒に借りている畑で、必要な時期に必要な野菜を植え、季節の手仕事もしたいです。移住前は畑ができないほど仕事が忙しかったので、仕事と生活のバランスを大切にしたいです。今はじゃがいもと、とうもろこし、生姜、トマト、きゅうり、ねぎ、なす、大豆などを育てています。大豆はたくさん育てて、味噌や醤油なども作りたいです。

- 空き家から出るモノを再利用 - [モノストック] オープンデー

7/23(日) 9時～12時
8/21(月) 9時～12時
神領青井夫・旧国道沿い

